

学校だより
平成28年
12月7日号

はるにれ

海老名市立
有馬小学校
校長 宮原謙二

自分を大切に思うこと

日本青少年研究所のアンケート調査結果からみると、日本の高校生の72%が自分をダメ人間だと思ふことがあるようです。これは、もっとも低い韓国の35%と比べ、倍以上の数字です。数年前よりは改善されつつはあるものの、残念ながら日本人は、まだ自己肯定感が低い傾向があります。

さて、有馬小の子どもたちはどうでしょうか。高校生とまではいかないものの、自分のよいところをすぐに答える子は少ないと思います。「あなたがいてくれてよかった。」「あなたのおかげで助かった。」など、具体的な場面で直接ほめてあげることが大切だと思います。悪いことをした時は叱り、よいことをした時はほめてあげること。簡単なようで、つい叱ることの方が多くなりがちです。

子どもたち一人一人が自分の存在を認められ、役に立つことを自覚した時、幸せを感じると共に、自分を好きになるのではないのでしょうか。有馬小学校の子どもたちが、自分に自信を持って、自分を大切に生きていってほしいと願っています。



「市農政課から届いた“バラの花”」各学級に1束ずつ 12.6(月)撮影

全国学力・学習状況調査から



海老名市では、一昨年度から全国学力状況調査を公表しています。これは、他市との比較や優劣を判断するものではなく、全国的な調査の結果として、分析・

考察して、今後の指導の改善に生かすためのものです。

今年度の結果から、主なものをまとめてみましたのでご覧いただき、改善に向けての取り組みにご協力いただきますようお願いいたします。

有馬小学校

国語○漢字を正しく書くことについては、正答率が高い。

○目的や意図に応じて自分の考えを書くことは、比較的正確率が高い。

△文章の内容を的確に押さえ自分の考えを書くという設問の正確率が低い。

算数○不等号、図形、割合、単位量当たりの大きさを理解することができている。

○式を活用して数値を求めることができる。

△問題が複雑になると、正確率が下がったり無解答が増えたりする。

質問紙○基本的な生活習慣が身についている。
△テレビの視聴時間が長く家庭学習の時間が短い。〔詳しくは、今月中旬公表の市のホームページをご覧ください。〕

就学時健診



12月2日(金)に、就学時健診が行われました。

来年度入学する可愛い子どもたちが、少し緊張した面持ちで内科、歯科、視力などの検査を受けました。

幼稚園とは違った有馬小学校を見て、期待がふくらんだことでしょう。安心して小学校生活が送れるように、しっかりと準備していきたいと思います。

て小学校生活が送れるように、しっかりと準備していきたいと思います。

携帯・スマホのルールづくり



有馬小で携帯のアンケートをとったところ、実に多くの子どもが携帯・スマホを持っていることがわかりました。

ご家庭でもお子さんとルールをつくり、事故やトラブルに巻き込まれないようにしなければなりません。また、日頃からお子さんとのコミュニケーションをしっかりとることや、定期的にルールを見直すことも大切です。

ルールの例については、学年だよりの裏面を参考にして決めていただければと思います。

行事予定

12月	12日(月)	児童朝会
	20日(火)	給食終了
	21日(水)	短縮日課 4校時 大掃除
	22日(木)	2学期終業式
1月	10日(火)	3学期始業式
	12日(木)	給食開始
	16日(月)	書き初め展



「栽培委員会が大切に育てているパンジーの花」

有中学区小中一貫教育 2

“よりよい授業をめざして（授業改善）”

11月21日(月)の校内研究授業(国語)に、門沢橋小学校の先生が参加しました。校内研究とは、学校ごとに教員の授業力向上のために、テーマを決めて全職員で取り組んでいる授業研究です。

互いの授業を見合い学び合うことは、小中一貫教育の取り組みの中で、最も大切なものだと考えております。“どの子にもわかりやすい授業”を行うということは、我々教員にとって、命ともいべき大切なものです。4校でそれぞれに進めている校内研究に、互いに参加することで、それぞれの研究の良さを学ぶことができたらと思います。そのことが、有中学区の子どもの学力向上につながると考えています。

有中学区小中一貫教育実施委員会と担当者会議を月に一回開催し、取り組みの状況を確認・見直しをしたり新しい取り組みを検討したりしながら丁寧に進めています。現在進めていることは、4校でそれぞれに取り組んでいる“家庭学習”の共通理解を図っていこうというものです。家庭学習について共通理解を持ち、9年間のスパンで取り組むことができたらと考えています。

一つ一つの取り組みが、テーマである「豊かな心の育成」と「学力向上」につながるように、4校の職員が力を合わせて進めていきたいと思ひます。



“下河内はやし連”地域の文化を伝える

11月30日(水)に、下河内はやし連の皆さんが4年生に、地元の伝統文化である“おはやし”を教えてくださいました。子どもたちのために仕事を休んでくださった方もいて、頭の下がる思いです。

おはやしには楽譜がないため、リズムは“文句”といわれる言葉で表現します。“地”というベースのリズムを教わり、最後ははやし連の皆さんと一緒に演奏させてもらいました。

「難しかったけど、楽しかった。」という子どもたちの目は、輝いていました。



「優」という字の持つ意味

「優」という字の持つ意味をご存じでしょうか。11月28日(月)の朝会で、子どもたちと一緒に考えてみました。

優しいというこの文字は、“イ(にんべん)”と“憂う”という二つの部分からなっています。つまり、人を憂うこと、言い換えれば、相手のつらい気持ちや悲しい気持ちを理解し、寄り添い心配できることが本当の優しさです。

自分のことばかり考えていると、人を傷つけたりけんかが絶えません。子どもたちが、相手の立場に立って、気持ちを考えることのできる人になってほしいと願っています。

